

【2学期終業】

“暑”で始まった2学期も、季節通り“寒”で終わりました。2学期は「体育大会」「文化発表会」「創立50周年記念式典」など、大きな行事が続きましたが、生徒の皆さんは勉強も含めて充実した2学期を過ごすことができたでしょうか。私にとって今学期は、大変忙しい学期でしたが、部活動や各教科作品展、作文やポスター等のコンクールなどで、素晴らしい成果を上げた皆さんの、**成長を感じたとても嬉しい学期**でもありました。皆さんを誇りに思います。ところで、以前『感謝のない人間は、人が自分のために、何かしてくれて当たり前だと思っている。だから人が何かしてくれないと、不平と不満を感じ、いつも文句ばかり出てしまう・・・』という言葉を紹介しました。“感謝”についての言葉でしたが、自ら努力もせず人に頼り、『待ち』の姿勢ばかりの人にも通じるかなと思います。

日常の努力を十分にしない人に、成果は望めません。自ら学ぶ姿勢のない人には、学力はつきません。確かな努力を続けてこそ**“わかる喜び”**を体感できるのです。

明日から17日間の冬休みです。急げ心に打ち勝ち、3学期には**“どや顔(得意顔)”**で登校してくることを期待しています。くれぐれも食べ過ぎて“太っただけの冬休み”とならないように・・・。(自分に言い聞かせています・・・)



『人は一瞬で変わる』読売新聞から

(鎌田実 = 長野・諏訪中央病院名誉院長)

読売新聞に、『・・・われわれの祖先は、困難のなかで自らの生き方を変えてきたのである。どんな命のなかにも変わることが刷り込まれているように思う。**変わるということは、別の人間に変身することでは決してなく、自分のなかに眠っている、自分も気がつかないものを引き出すことだ。人が変わる時には、きっかけとなる一瞬がある。そんな一瞬は、めったにないと思われるかもしれない。でも、いい人、いい言葉と出会う一瞬は、実は何度もやってきている。多くの人は、それに気づかずにやりすごしているだけなのではないか。・・・**』という鎌田実さんの文章が載っていた。生きていく中で『自分を変えたい』と思うときがだれにでもある。今の自分が嫌になったときや苦しい現状から抜け出したいと願うとき、特にそう思うのではないだろうか。『人は一瞬で変わる』・・・同じ失敗と後悔を繰り返す者にとって、こんなに勇気づけられる言葉はない。ただ**“逃避”**はしたくない。勇気を持って逃げずに立ち向かう者だけが、変わる一瞬を捉えることができると思いたい。



【正月～伝統行事を知る～】

もういくつ寝ると お正月 ♪

お正月には 風揚げて こまを回して遊びましょ
(「お正月」作曲: 滝廉太郎)

『正月』というのは、家に歳神様をお迎えし、祝う行事です。歳神とは、1年の初めにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らすことを約束してくれる神様です。正月に門松やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から歓迎するための準備です。ところで皆さんは、風揚げやコマ回し、羽根つき、毬つき、カルタ取り、百人一首など、昔から伝わる遊びを体験したことがあるかな？百人一首ぐらい？今度のお正月には、ゲーム機ばかりではなく、コマなど回して遊んでみてはどうですか、50歳以上の人なら間違いなく遊び方を教えてください。また、他の家に新年の挨拶に行くことや、家に来客を迎えることも多い時です。正しい挨拶やマナーを学ぶチャンスだと思います。しっかり挨拶の練習をしましょう。そして、**初詣**。年に1度ぐらい神社やお寺などにお参りするの、伝統文化に触れるという意味で、良いことだと思います。



【保護者の皆様へ】

本格的な冬の訪れを感じる本日、2学期を終業いたしました。厳しい残暑に熱中症の心配をした9月から今日まで、生徒達はそれぞれ精一杯の頑張りを見せてくれました。また、保護者の皆様には、平素より多大なご理解ご協力をいただきましたこと、大変感謝いたしております。ありがとうございました。お陰をもちまして、まだ十分ではない点もございますが、着実に学校秩序の回復が進んでおります。今後も教職員一同、“期待に応えられる学校”をめざし、さらに頑張りますので、3学期なお一層のご支援をお願い申し上げます。

さて、明日から17日間の冬休みです。不規則な生活になりがちですので、規則正しい生活の維持や、学習習慣の維持に努めるように指導をお願いします。

では、良いお年をお迎え下さい。

校長 橋立治男

